

3月30・31日 コスモプラネタリウム渋谷×桜まつり2018が開催されました

3月30・31日にコスモプラネタリウム渋谷と第26回渋谷桜丘桜まつりが同時開催されました。「渋谷・宇宙・桜」を同時に楽しめる場にしようと、渋谷駅前共栄会とコスモプラネタリウムの共催で実施されたものです。コスモプラネタリウム渋谷では、お笑いライブや演劇、キッズ向けイベントのほか天体観望などが行われ、大勢の人の笑い声であふれていました。また、桜丘町では飲食店の出店が立ち並び、満開の桜と共に訪れる人たちの五感を楽しませていました。

☎コスモプラネタリウム渋谷 ☎3464-2131 ☎3464-2148



キッズタイム
音と光の
プラネタリウムショー

音と光の幻想的な空間で、クイズやゲームが行われ、観客全員が夢中に。

プラネタリウム
実験ショー



宇宙教育リーダーの和田直樹先生が、宇宙の謎を紹介。



催しを通じて街全体がより活気づくことを期待しています。

←長谷部区長

MILLEA
ライブ



渋谷インフォスタワーの前で透明感あふれる歌声を披露。



プラネタリウム演劇
『宇宙桜が咲く頃』

演劇ユニット☆宇宙食堂による、宇宙に行った桜をテーマにした演劇が上演されました。



桜丘町の桜並木

桜丘町のさくら坂はおよそ100mの坂道で、道路の両側では淡いピンク色の花を咲かせたソメイヨシノが見頃を迎えていました。

30日

宇宙桜の植樹式が行われました

渋谷インフォスタワー(桜丘町20-1)で行われた第26回渋谷桜丘桜まつり式典内で植樹されたのは、高知県佐川町原産の「宇宙稚木の桜」と呼ばれる桜の苗で、若木でもかわいらしい白い花を咲かせるのが特徴です。

宇宙桜って?

2008年に宇宙飛行士の若田光一氏とともに国際宇宙ステーション「きぼう」に運ばれた桜の種から発芽した桜です。通常は開花までに10年ほどかかることとされる桜が宇宙を旅したことで4年ほどで開花するのが特徴で、東北各地では「きぼうの桜」として復興のシンボルにもなっています。

渋谷宇宙桜プロジェクトって?

1000年後の未来を見据え、宇宙を旅した桜を渋谷のシンボルとして植樹しようと、渋谷・桜丘で立ち上げられたプロジェクトです。宇宙を旅した神秘的な宇宙桜を共有し、「渋谷の宇宙桜」として世界的な観光スポットにするとともに、桜丘地区のより一層の発展を目指しています。

▶渋谷の宇宙桜



▲区内の子どもの手でも水やりが行われました

SHIBUYA TOPICS /



このコーナーでは、季節の話題や区内の出来事などを不定期で紹介いたします。

3月
2~6日

はあとびあ作品展

文化総合センター大和田



障害者福祉センターはあとびあ原宿の利用者が制作した藍染め・絵画・織物・手芸作品などが展示、一部販売されました。また、利用者の普段の様子などの写真や映像などを紹介しました。今年で8回目を迎えた本作品展では、柿をモチーフにした作品が多く見られ、来場者を楽しませていました。

3月
10・11日

えびす社教館まつり

恵比寿社会教育館



えびす社教館まつりでは、普段社会教育館で活動しているサークルによる絵画や切り絵の展示が両日行われたほか、子どもから大人まで楽しめる親子体操やキッズダンスの体験・発表がありました。また、毎年恒例のチャリティーバザーには大勢の人が参加し、手作りのペーパーフラワーや輪飾りで装飾された館内で、来場者がそれぞれお目当ての品を見つけて手に取る様子が見られました。